



19金地振第235号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

福島県大沼郡
金山町長 長谷川 律夫



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました件について、別紙のとおり回答いたします。

(事務担当)
地域振興課
建設係 栗城
TEL 0241-54-5311

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

(中期的な計画の作成にあたっての意見)

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

日本の高度経済成長において、社会資本整備特に、交通手段（道路、鉄道、港、空港等）は目覚ましい発展を遂げ、日本全国津々浦々まで交通網が整備されネットワーク化が図られた。しかし、都市と地方においては交通手段の格差が生じ、特に地方においては、道路（国・県道等）が唯一の交通手段となっている地方も未だ多くある。そのような所は、幹線道路（国道等）があっても災害時等の代替道路もなく、主要地方道「県道」においても整備が遅れており、町村道にいたっては未整備区間が多く、住民の生活に密着した道路整備が図られていない現状である。整備するにしても雪崩、落石等危険箇所解消で多額の費用を要するところが多い。しかし、地域住民の生活を支えるには必要不可欠な整備であり、計画的、重点的に進める必要がある。

- ・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

道路利用者（地域住民）は道路（国・県道、市町村道、林道、農道等）を生活に密着した交通手段としか考えていない人が多いと思われる。道路種別をこえた、道路網のネットワーク化、また、全体的な地域道路網整備計画により一体的な整備で効率化を図られると考えます。

- ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

地方部、都市部の二極化と言われる全てにおいて発生する格差を少しでも解消できる唯一の手段は道路整備と思われる。都市部以上の生活に密着した道路整備を図られれば、他においての格差解消を少しでも縮めることができるのではないかと考える。

管理に費やされる費用は、これから年々増えることは確実であり、知恵を絞り、汗をかき、費用の縮減に向けた方策を早急に出してもらい必要がある。

(金 山 町)